

北海道医療新聞

11月21日
2022年・2439号
毎週月曜日発行
年間購読料22,000円
(前納/税込)
発行所

株式会社 北海道医療新聞社
〒060-0042
札幌市中央区大通西6丁目
(北海道医師会館)
TEL 011(221)7777
www.medim.co.jp

北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)の若手研究者人材育成補助金採択者の中で、特に優秀な成果を収めた研究者に贈られる理



事長賞を受賞した。

助教を務める旭医大先進工学研究センターの武輪能明教授らと開発中の人工心臓弁「バイオバルブ」の臨床応用を目指す

ノーステック財団理事長賞を受賞した

佐藤 康史氏

し、組織工学の専門家として製品の評価・改良に取り組む。受賞対象研究は、ヤギの皮下で作製し

たバイオバルブを肺動脈に移植、「心臓の拍動に合わせて開閉し、逆流も抑えられるなど有効に機能することを確かめた」。従来の人工心臓弁は血栓形成や免疫反応等のリ



人工心臓弁開発に注力

スクや、小児は成長の妨げになるなど深刻な課題があり、臨床応用が実現すれば特に小児患者に大きな福音となるとい

う。紋別市出身。医薬品開発など化学による医療貢献に興味があり、北大工学部に進学。iPS細胞の登場がきっかけで、工学技術による再生医療への貢献を目指し、組織工学の道に進んだ。交流があった武輪教授の着任を機に、自身も旭川へ。「地元で新たなことにチャレンジできるのは幸せ。組織工学技術の医療応用に注力する」。